

第1回保健医療技術情報普及支援検討会

議 事 次 第

	平成13年4月20日(金)
	15:00~16:30
	厚生労働省別館特別第1会議室
1. 開会	
2. 医政局長挨拶	
3. 委員紹介	
4. 議 事	

- (1) 「保健医療技術情報普及支援検討会」設置の主旨について
- (2) これまでの旧厚生省の取り組み
- (3) わが国における有用な診療のための情報提供のあり方についてのフリートーキング
- (4) 今後の検討会の進め方について

5. その他 次回の日程調整・確認等

6. 閉会

資料1 医療技術評価推進検討会報告書

資料2 これまでの旧厚生省の取り組み

資料3 保健医療技術情報普及支援検討会における検討項目(案)

保健医療技術情報普及支援検討会委員紹介（五十音順）

所 属	氏 名
北海道家庭医療学センター所長	葛西 龍樹 かつさい りゅうき
医療情報システム開発センター理事長	開原 成允 かいげん しのぶ
日本医師会常任理事	櫻井 秀也 さくらい ひでや
日本医学会副会長・自治医科大学学長	高久 史磨 たかく しみろ
愛知淑徳大学文学部図書館情報学科教授	野添 篤毅 のぞえ あつたけ
徳島大学医学部衛生学講座教授	久繁 哲徳 ひさしげ あきのり
京都大学医学部附属病院総合診療部教授	福井 次矢 ふくい つぐや
国立国際医療センター総長	矢崎 義雄 やざき よしお

資料 2

これまでの旧厚生省の取り組み

検討会報告・施策等

平成 9 年度 「医療技術評価の在り方に関する検討会報告書」
(平成 9 年 6 月)

- 医療技術評価の定義
- 医療技術評価の位置づけとその関連領域
- 医療技術評価の現状
- わが国における医療技術評価の利用
- 医療技術評価の推進に向けて取り組むべきこと

平成 10 年度 「医療技術評価推進検討会」(平成 11 年 3 月)

- EBMの推進
- 治療(診療)ガイドラインの作成
- 総合的推進に向けての調整
- 臨床研究の推進並びに国民の理解及び協力
- 情報ネットワークについての必要性

平成 11 年度 「医療技術評価推進検討会」での提言を受け、厚生科学研究費
において、学会等が作成する疾患毎の診療のためのガイド
ラインを支援

- 本態性高血圧、糖尿病、喘息、心筋梗塞、前立腺肥大症(泌
尿器科領域)

平成 12 年度 前年度に引き続き学会等が作成する疾患毎の診療のためのガ
イドラインを支援

- 胃潰瘍、脳梗塞、白内障、腰痛症、慢性関節リウマチ、
クモ膜下出血、アレルギー性鼻炎の計 12 課題

また、ガイドラインと平行して、EBMの実効性ある普及に
関する研究についても作成を支援

- リサーチライブラリアン養成研究等計 8 課題→詳細は別紙

EBMの推進に関する研究

平成12年度

診療ガイドラインの研究

平成11年度

診療ガイドラインの研究

- 科学的根拠に基づく糖尿病診療ガイドラインの策定に関する研究 (赤沼)
- 高血圧治療ガイドライン作成に関する研究 (藤島)
- 泌尿器科領域の治療標準化に関する研究 (大島)
- 急性心筋梗塞及び他の虚血性心疾患の診療情報の整理に関する研究 (上松満)
- 喘息ガイドラインの作成 (宮本)



- 科学的根拠に基づく糖尿病診断ガイドラインの策定に関する研究 (赤沼)
- 高血圧治療ガイドライン作成に関する研究 (藤島)
- 泌尿器科領域の治療標準化に関する研究 (大島)
- 急性心筋梗塞及び他の虚血性心疾患の診療情報の整理に関する研究 (上松満)
- 喘息ガイドラインの作成 (宮本)
- 科学的根拠に基づく胃潰瘍診療ガイドラインの策定に関する研究 (菅野)
- Evidenceに基づく脳梗塞診療ガイドライン策定に関する研究 (福内)
- 科学的根拠に基づく白内障診療ガイドラインの策定に関する研究 (小原)
- 科学的根拠に基づく医療に基づいた腰痛症診療のガイドラインの策定に関する研究 (白井)
- 科学的根拠に基づく慢性関節リウマチ診療ガイドラインの策定に関する研究 (越智)
- 科学的根拠に基づくクモ膜下出血診療ガイドラインの策定に関する研究 (吉峰)
- アレルギー性鼻炎の科学的根拠に基づく医療によるガイドライン策定に関する研究 (馬場)

普及に関する研究

- EBMを支えるリサーチライブラリアン養成に関する研究 (中嶋)



- EBMを支えるリサーチライブラリアン養成に関する研究 (中嶋)
- 日本の既存医学データベースをEBMに生かすためのエレクトロニックサーチ・ハンズリサーチの方法論の開発とデータベース改良に関する研究 (津谷)
- EBM普及のためのシラバス作成と教育方法に関する研究 (福井)
- わが国における看護実践国際分類の妥当性と普及に関する研究 (岡谷)
- EBM普及支援システムの開発に関する研究 (小泉)
- 日本におけるEBMのためのデータベース構築および提供利用に関する調査研究 (丹後)
- 標準データ項目セットを用いた知的データベースによる診療根拠の動的生成に関する研究 (山本)
- 相補・代替医療の評価と保健サービスにおける位置づけに関する研究 (丁)

資料3

保健医療技術情報普及支援検討会における検討項目（案）

- 1 医療現場に役立つ診療情報の提供システムのあり方について
 - ① 専門医が求めるシステム
 - ② 一般臨床医が求めるシステム
 - ③ 研修医及び医学生が求めるシステム
- 2 求められる情報提供の具体的な方策について
 - ① 医学文献やガイドラインはどの様にして収集・加工していくのか
 - ② 個別課題に関する系統的な評価（レビュー）はどの様に行っていくのか
 - ③ 情報提供システムの運用について
 - （イ）提供すべきシステムの内容はどうするのか
 - （ロ）どのようにして有用なデータを収集していくのか
 - （ハ）収集したデータをどの様に整理していくのか
 - （ニ）整理されたデータをどのように提示するのか
- 3 情報提供に関する公民の役割分担について
 - ① どの様な体制で情報提供を進めていくのか
 - ② 国の役割は何か
 - ③ 民間の役割は何か
 - ④ 民間の役割に対する国の支援はどうするのか